

# 夜間学校ニュース

1987年9月25日  
西成区萩之茶屋2の8の9 旅路の里気付  
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の  
指紋押なつ拒否断固支持！  
定住外国人に市民権を

## 大阪府・市の厚顔無恥！

### われらも見習うべし

下の新聞記事の一部分は、野宿している仲間が商店の軒下などからも追い立てられて、行政がコメントしたものだ。

いる。

二人なにハッキリと判るウソを言える人というのはいくらもいない。一度顔をみてみたいものだ。

大阪府は、昔カンは、働く意欲が体力のない人ばかり。だから対策のたてようがない、と言っている。

四月から七月にかけては、釜の仕事が減ると同時に、労働者には働く意欲がなくな

青カンを余儀なくされている仲間が、軒下からすら追い立てられていることを伝えた朝日新聞の記事で行政は...

大阪市民生局保護課は「病氣やけがで働けない人や高齢者は、市更生相談所や各区の福祉事務所と相談のり、入院や老人ホームを世話している。しかし、健康で年若い労働者は、働いて自立してもらわなければならない」。市としてとくに対策はありませぬ。あいりん地区の労働対策をしている大阪府労働部職業対策課特別対策室は「仕事に十分な余裕に野宿している人に、労働者として働く意欲や体力があるか疑問。仕事にあふれたときの手当も出ており、ちゃんと日雇い労働をしていれば、どこかに泊まれるはず。働く意欲のない人には対策のたてようがない」と言っている。

一九八七年九月二〇日  
朝日新聞朝刊

#### 素粒子

あいりんの野宿者は意欲者と投所は言いたげ。仮寝で働く意欲と体力を促ると考るか。

一九八七年九月二二日

朝日新聞夕刊

みんなでつくろう

みんなの会館

三人よれば何とかの知恵

釜ヶ崎夜間学校

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

# 一方通行を越えるには……

このところ、印紙をめぐる問題を話し合っています。日常的で切実な問題ですが、一方では、こんなことは西成にツギモノのことや、根本は仕事が少ないことや、との声もあります。こんなところから前回の夜間学校ははじまりました。

「印紙の話はやっぱり消極的すぎる。手帳取り上げというのはいつでもあるで。」

「そういうても、十六番窓口にまわってくれ、言われたら緊張するで。」

「それに中に入れとか言われたらマスマスや。」

「大体、入ったらあかんねんけど、外でがんばるいうのも限界がある。」

「入らざるを得んわな、そうせんとここでは生きていけんで。」

「印紙とハンコがずれとるということで十六番で話をするのもあるけど、それだけですまんのが普通やし。中に入ったら職員が四、五人とまわりを取り囲む、なんか暴力団が警察みたいやで。」

「だいたいあそこの職員は二、三十代が多いけど、釜の労働者は四、五十代が大半や、年寄りやというところでもナメられるんとかやうかい。」

「この印紙ほどの現場やったんやと聞いたらめられるわけやけど」

クルマに乗っていったんやたらまず道とか住所はおぼえられんし、同じ印紙でもぶつうは現場は一つだけということはないんやということを目撃から頭にいれとかんと、突然、まあ一六番に行け言われんのはいつも突然やけど、突然の際にシドロモドロになると、ますますむこうにツケ入れらるで。」

「この問題とか労災・交通事故に会った時どうしたらええか、ということとは夜間学校できちんと勉強せなあかんと思うわ。」

「この年になって勉強いうのはワシはかなわんわ。」

「以前、こんな死に方をしたいかということを書いた人があつたけど、問題はこれからどう有意義な生活をするかな、いくら昔のことを考えてもキリがないで。」

「そこで問題になるのは、何が有意義かということや。」

「こめはなかなか大変な問題や、さつきも出たけど四、五十代といえは大人も大人、おんなりの人生観を持ってる人ばかりやから、譲れんもんがあるで。」

「飲み屋で話をしても言いたいことだけ言うとかさつと帰ってしまう人もけっこう多いで。」

「言いたいことを言うつというところは大事やけど、一方通行やったら独言とっしよや、そこで話をきくとか共に考えろという姿勢が重要になる。」